授業名	**統計リテラシー**		
英文授業名 ※大学によっては英文成績通知書の記載のために必要となりますので，必ずご記入ください。	Statistical literacy		
開講期間	2026 年度 前期		
単位数	2 単位		
授業提供大学	信州大学		
主担当教員氏名	平井　佑樹		
副担当教員氏名	永井　康史，太田家　健佑		
授業のねらい ※該当しないもの行は削除してください。 ※授業で得られる地域活性化人材の能力と対応するように本授業の達成目標を設定してください。 ※「～することができるようになる」「～することができる」という形での目標設定を推奨します。	授業で得られる 地域活性化人材の能力	⇔	本授業の達成目標
	α　信州の活性化に係る知識・技能	⇔	確率・統計のごく基本的な概念について理解できる。
授業の概要	まず記述統計を扱い，表やグラフ，平均や標準偏差を用いてどのようにデータを整理して情報を引き出すかについて学習する。次に確率論の基本的な考え方について学び，大数の法則と中心極限定理について学ぶ。重要な確率分布として正規分布と t 分布，カイ二乗分布も学ぶ。その後，推測統計について習熟する。すなわち，知りたい対象の一部分のデータしか得られない場合に，どのように対象全体の性質について推測するかという問題を，区間推定を理解することにより学ぶ。		
授業の計画	第 1 回	度数分布表とヒストグラム	
	第 2 回	代表値（1）	
	第 3 回	代表値（2）	

	第 4 回	データの加工
	第 5 回	2 次元のデータ
	第 6 回	確率変数（1）
	第 7 回	確率変数（2）
	第 8 回	期待値と大数の法則
	第 9 回	確率変数の分散
	第 10 回	連続型の確率変数
	第 11 回	中心極限定理
	第 12 回	その他の連続型確率分布
	第 13 回	推測統計（1）
	第 14 回	推測統計（2）
	第 15 回	推測統計（3）
評価 ※100 点満点の点数をどのように付けるのかを記載ください。（小テストの回数や配点等）	全 15 回の中で 10 回の小テストを実施し，その合計点で評価する。	
事前事後学習の内容	・事前学習：講義動画で表示されるスライドや補足資料（いずれも ShinXia-LMS 上で提供）の内容を一通り確認する。 ・事後学習：演習課題に取り組み，必要に応じて講義動画を再視聴するなどにより，学習内容の定着を確認し，理解を確実にする。 ※本科目では 90 時間の学修を必要とする。	
履修上の注意	・各回の講義動画で表示するスライドを ShinXia-LMS 上で提供するが，スライドに書かれていない解説を聞き逃さないこと。必要に応じてスライドを印刷し，解説をよく聴いてメモを取り，理解を確かめながら授業に臨むこと。分からないところは授業後に質問すること。 ・いかなる理由でも小テストを受験できなかった場合の救済は行わない。ただし，担当教員に責任がある場合や，出席停止や入院等の理由で各大学の事務担当者から配慮依頼があった場合は適切に対応する。	
教科書	指定しない。	
参考書	小島寛之, 『完全独習 統計学入門』, ダイヤモンド社, ISBN4-478-82009-0	